

2014 年 11 月 28 日
株式会社みずほ銀行

「みずほアジアインフラファンド」の設立について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、日系企業によるインフラ投資を促進し、アジアの成長に貢献することを目指し、アジア新興国等におけるインフラプロジェクトを投資対象とする最大 2 億米ドル規模のインフラファンドを設立することを決定しました。当行は、本ファンドの運営会社として、Mizuho AsiaInfra Capital Pte. Ltd.(100%出資子会社)をシンガポールに設立するとともに、本ファンドに対し、1 億 2500 万米ドルの出資を行いました。

アジアのインフラ投資需要は大きく、今後も、新興国を中心に発電所・送電線・水処理施設・道路・鉄道・空港・港湾といったインフラの新設および更新が見込まれています。企業がアジア新興国等におけるインフラプロジェクトへの投資を行う事例が増えていく中、プロジェクトへの共同出資や現地政府・地場金融機関との交渉サポートニーズが顕在化してきています。本ファンドを通じ、案件当初よりエクイティ出資者としてストラクチャー構築に関与することで、また出資者としてプロジェクトの運営管理に携わることで、日系企業の投資を後押しするとともに、アジア各国のインフラ整備促進をサポートしていきます。

当行は、長年にわたって蓄積されたプロジェクトファイナンスの知識、経験、ネットワークを活用し、〈みずほ〉のプロジェクトファイナンス関連拠点やアジアを中心とする各拠点、および地域金融機関とも連携し、アジアの成長に貢献していきます。

以 上

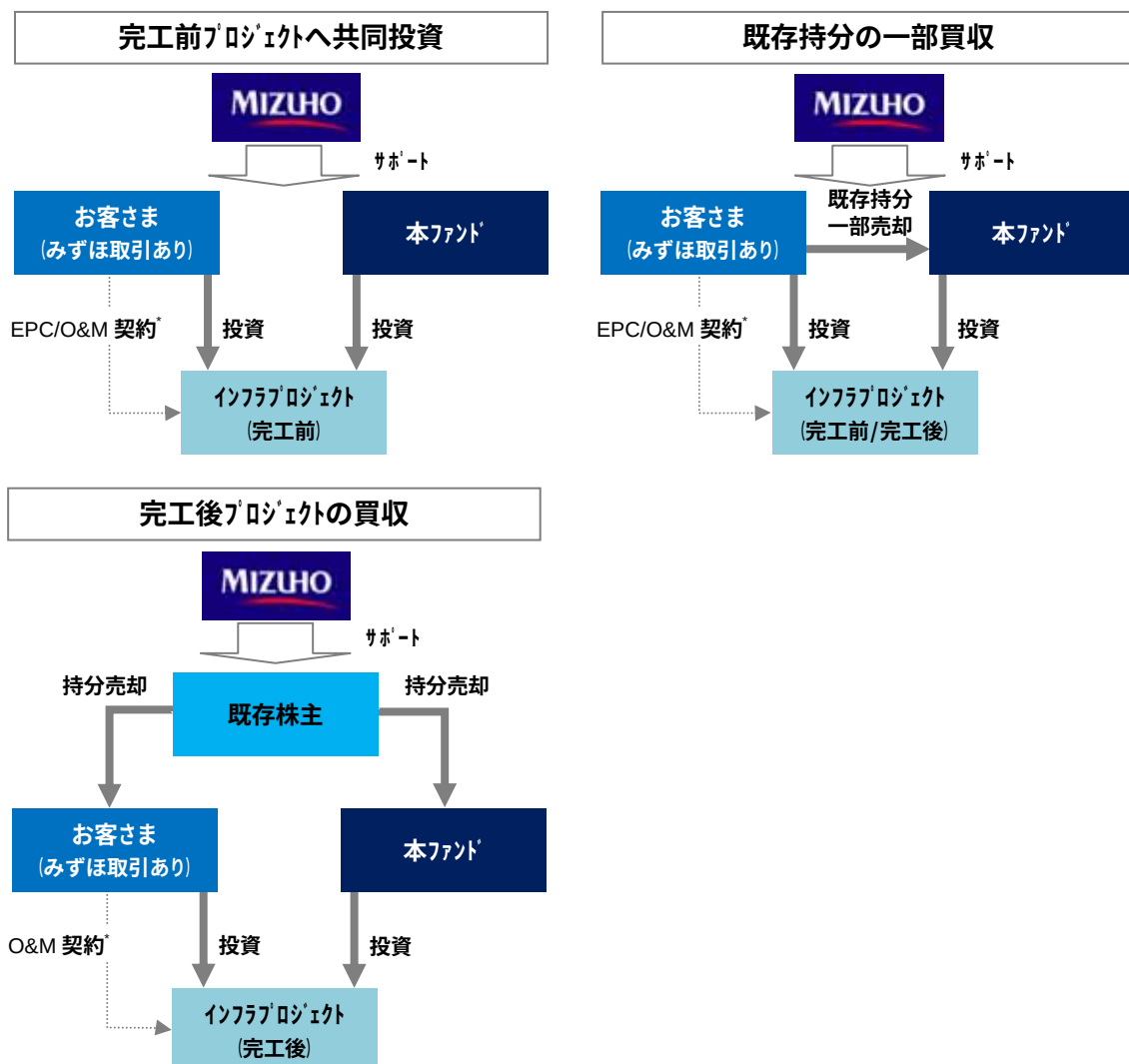
(参考：ファンドの概要)

名称	Mizuho AsiaInfra Investment LP
ファンド規模	最大 2 億米ドル (みずほ銀行は 1 億 2500 万米ドル出資)
ファンド運営会社	Mizuho AsiaInfra Capital Pte.Ltd.
ファンド目的	アジア新興国等における、インフラプロジェクトに対するエクイティ投資、およびエクイティ関連投資
ファンド組成日	2014 年 11 月 27 日

(参考：ファンド運営会社の概要)

名称	Mizuho AsiaInfra Capital Pte.Ltd.
設立国	シンガポール
株主	みずほ銀行 100%出資
営業開始日	2014 年 11 月 27 日

(ご参考：想定するファンドの投資イメージ)



* EPC は Engineering (設計), Procurement (調達), Construction (建設) の略
O&M は Operation (操業), Maintenance (保守) の略